

令和五年度 入学者選抜学力試験 国語(後期/経済) 解答例

解答一

(一) ア 直近 イ 頻繁 ウ 拘束 エ 老朽 オ 隆盛 カ 誇示

(二) 住宅や土地は、限りある都市空間の中で所有者以外にも利用され、評価される可能性があり、周辺環境によっても価値が左右されるから。 63

(三) 住宅の直接供給では、限られた人だけが住宅サービスを手に入れるので、公平性が問題となり、政府は、人々が不公平を感じないように、サービスを購入する機会が多くの人に開かれており、購入者が公平に選ばれていることを示し、公平性が実現できない場合には直接供給を正当化する社会的便益を説明する対応を行う。 146

(四) 戦争中の強権的な家賃統制が強い借り手保護をもたらし、戦後も家賃設定の自由度が低くなり、賃貸住宅への投資が抑制され、賃貸手の取引費用が大きくなり、賃貸住宅が小規模なものしか供給されにくくなり、政府の役割が大きくなった。 109

(五) 民主制のもとでは、高層の集合住宅の建設によって生活環境が悪化する近隣の住民や、所有する土地価格の下落によりダメージを受ける郊外の地主といった、不満や反発を持つ人々が政治に働きかけることで、建設が規制され、ディベロッパなどが規制緩和を求め、反対する主張の方が強くなることがあるから。 143

問

(一) 多くの人たちが、教育課程からの排除、企業福祉からの排除、家族福祉からの排除、公的福祉からの排除、自分自身からの排除を背景として貧困状態に陥ってしまう社会。

(二) 何のために生き抜くのか働くのか、その意味や意義も見えなくなる自分自身からの排除をする人たちは、複数の排除を受けることを周囲からは本人のせいと片づけられ、本人自身も自分のせいととらえる自己責任論を内面化してしまい、また、セーフティネットが機能していないと理解できる人でも、それを個人の問題に還元し、他人事として切り捨ててしまうから。

(三) 基本的な潜在能力が奪われた状態

(四) 神話が貧困を一層社会から見えにくくし、こうしたことがまた自己責任論を誘発する悪循環を生み、さらに自分の頑張りを認めてもらいたいという承認の要求が、しばしば他者への叱責として表現される事態。